

愛知県環境学習等行動計画 2030 中間評価（定量的評価）

各主体に期待される主な取組の実施状況（県以外）

		主体（調査方法）＜回答数／調査数＞	調査結果	
主な取組		アンケート内容	2022（R4）	2016（H28）
家庭 （県民）	家庭（県民）（県政世論調査）＜1,575／3,000 者＞			
	直接体験（身近な自然の体験等）の機会の確保	環境学習や環境保全活動に参加したことがある人の割合	61.8%	66.0%
	エコアクションの実践	毎日の暮らしの中で何らかのエコアクションに取り組む人の割合	96.6%	95.7%
	世代間の学び合い・育ち合い	家族や友人で、環境についての話し合いや環境活動に参加した人の割合	65.0%	72.1%
学校	幼稚園等（アンケート調査 対象：私立幼稚園、私立幼稚園型認定こども園、特別支援学校幼稚部）＜58／344 園＞			
	発達段階に応じた環境教育の実施	実体験を取り入れた環境教育を実施した幼稚園等の割合	87.9%	97.7%
	体験学習・問題解決的な学習の充実			
	ESD の視点を意識した環境教育の実施			
	多様な主体との連携・協働による環境教育の実施	環境教育や環境保全活動を連携・協働により行った幼稚園等の割合	60.3%	57.3%
	学校の外へと発展する環境教育の実施	教職員が環境教育に関する研修等に参加した幼稚園等の割合	36.2%	33.0%
	環境教育や ESD の推進のための人材育成と研究			
	小・中・高・特支（アンケート調査 対象：県内各学校（国立・名古屋市立を除く））＜小 437／704 校＞ ＜中 205／324 校＞ ＜高 128／206 校＞ ＜特支 30／36＞			
	発達段階に応じた環境教育の実施	実体験を取り入れた環境教育を実施した学校の割合	小 100.0%	小 100.0%
			中 98.5%	中 99.6%
	体験学習・問題解決的な学習の充実		高 92.2%	高 94.6%
			特支 98.7%	特支 100.0%
	ESD の視点を意識した環境教育の実施	SDGs の視点を導入又は環境教育が SDGs の一部であると意識している学校の割合	小 99.8%	小 97.9%
			中 100.0%	中 96.9%
	総合的な学習（探究）の時間等の授業における各種環境の視点を導入した学校の割合		高 98.4%	高 90.6%
			特支 97.4%	特支 85.1%
	多様な主体との連携・協働による環境教育の実施	環境教育や環境保全活動を連携・協働により行った学校の割合	小 98.9%	小 99.3%
中 88.8%			中 77.6%	
学校の外へと発展する環境教育の実施		高 82.0%	高 68.5%	
		特支 80.5%	特支 71.6%	
多様な主体との連携・協働による環境教育の実施	環境教育や環境保全活動を連携・協働により行った学校の割合	小 97.5%	小 96.8%	
		中 92.2%	中 89.4%	
学校の外へと発展する環境教育の実施		高 82.8%	高 77.2%	
		特支 81.8%	特支 61.2%	
環境教育や ESD の推進のための人材育成と研究	教職員が環境教育に関する研修等に参加した学校の割合	小 61.6%	小 60.3%	
		中 58.5%	中 59.2%	
		高 57.0%	高 64.4%	
		特支 39.0%	特支 32.8%	

		主体（調査方法）＜回答数／調査数＞	調査結果	
主な取組		アンケート内容	2022 (R4)	2016 (H28)
学校	大学（アンケート調査 対象：県内各大学（短期大学を含む））＜39／71校＞			
	発達段階に応じた環境教育の実施	環境保全・環境教育やESDに関する研究や講座、イベント等を実施した大学の割合	71.8%	51.3%
	体験学習・問題解決的な学習の充実			
	ESDの視点を意識した環境教育の実施	環境教育や環境保全活動を連携・協働により行った大学の割合	89.3%	85.0%
	多様な主体との連携・協働による環境教育の実施			
	学校の外へと発展する環境教育の実施			
環境教育やESDの推進のための人材育成と研究	教員養成カリキュラムのある大学のうち、環境教育の指導方法を教授するような授業を実施した大学の割合	39.3%	15.0%	
社会	事業者（アンケート調査 対象：EPOC、名商エコクラブ）＜27／427者＞			
	社員教育の中での環境学習等の実施	社員教育の中で環境教育を実施した事業者の割合	96.3%	100.0%
	事業活動での環境負荷低減を通じた実践的な環境学習等の実施	サービスや情報提供などでの環境負荷低減の取組や、環境に配慮した製品・サービスの提供を行った事業者の割合	100.0%	97.1%
	多様な主体との連携・協働による環境学習等の実施	環境保全活動や環境教育を実施した事業者のうち、こうした活動を連携・協働により行った事業者の割合	85.2%	93.9%
	NPO（アンケート調査 対象：環境保全を図る活動を行う者）＜76／387者＞			
	地域における発展的な環境学習等の実施	環境保全活動や環境学習を実施したNPOの割合	77.6%	88.4%
		環境保全活動や環境学習を実施したNPOのうち、こうした活動を連携・協働により行ったNPOの割合	94.9%	93.4%
		コーディネーターの役割を実施したことがあるNPOの割合	32.9%	42.0%
	PTA（アンケート調査 対象：幼稚園等、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校など）＜689／1,588＞			
	地域の行事や課題を素材にした環境学習等の実施	地域のリサイクル活動、自然保護活動、地球温暖化対策に関する活動などの環境保全活動を連携・協働により行ったPTAの割合	75.1%	-
		地域の清掃活動や草刈りなどの環境美化活動を連携・協働により行ったPTAの割合	67.5%	-
		その他の環境に関する活動を連携・協働により行ったPTAの割合	14.8%	-
	市町村（アンケート調査）＜54／54市町村＞			
	地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり	地域住民向けの環境学習を実施又は地域の特性等を活かした環境学習を実施した市町村の割合	98.1%	94.4%
		連携・協働して環境学習を実施した市町村の割合	85.1%	88.9%
事業体としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施	職員に対して環境学習を実施した市町村の割合	79.6%	85.2%	
環境学習等を行う各主体への支援	NPOや事業者、学校等が実施している環境学習への支援を行った市町村の割合	85.2%	81.5%	

各主体に期待される主な取組の実施状況（県）

主な取組		主体（調査方法）		調査結果	
		県の主な施策の状況		2022（R4）	2017（H29）※
社会	県（関係機関への照会「愛知県の環境学習等に関する取組について」による）				
	地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり	あいち環境学習プラザ来館者数	4,625名	11,154名	
		プラザ環境学習講座開催回数	121回	53回	
		プラザ環境学習講座参加者数	3,179名	1,612名	
		AEL ネット環境学習スタンプラリー参加者数	29,930名	66,984名	
	事業体としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施	環境学習副読本の作成・配布部数	52,500部	56,000部	
		中期新規採用職員研修受講者数（科目：あいちエコマネジメント）	454名	375名	
	環境学習等を行う各主体への支援	中高年・シニア世代の環境学習講師（あいちecoティチャー）による環境学習講座実施回数	36回	-	
		中高年・シニア世代の環境学習講師（あいちecoティチャー）の養成人数	19人	-	
		環境学習コーディネーターへの相談件数	6件	13件	
		環境学習コーディネーターによるコーディネート件数	10件	21件	
	県内全域を対象とした環境学習等の推進のための環境づくり	愛知県環境学習施設等連絡協議会加盟施設等	186施設等	181施設等	
		あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付対象事業件数	110件	108件	
	環境、環境学習等に関する情報の収集・提供	環境白書・愛知の環境のあらましの作成	750部 1,200部	1,000部 1,500部	
		生涯学習情報システム「学びネットあいち」により環境学習情報を提供、自然科学・環境分野の人材を情報提供	実施	実施	
学びを行動につなぐための環境学習等を通じて育む「五つの力」 （体感する力、理解する力、探究する力、活用する力、共働する力）	◎：各事業に最も関連する力（一つのみ）	体感：22 理解：48 探究：4 活用：24 共働：19 【計：117】	体感：25 理解：47 探究：4 活用：23 共働：21 【計：120】		
	○：各事業に関連する力（複数可）	体感：33 理解：43 探究：40 活用：29 共働：28 【計：173】	体感：27 理解：40 探究：34 活用：26 共働：16 【計：143】		

※県の取組については、取組の実績を量的に把握し始めた2017（平成29）年度を基準年度とする。